

## 資料編

---

### ■ 諮問文

諮問第2号  
平成13年8月31日

世田谷区清掃・リサイクル審議会 様

世田谷区長 大 場 啓 二

世田谷区清掃・リサイクル条例（平成11年12月世田谷区条例第52号）に基づき、下記のとおり諮問します。

記

諮問事項『生ごみの減量・リサイクルの方策について』

## 1 諮問事項

「生ごみの減量・リサイクルの方策について」

## 2 諮問理由

世田谷区では、昨年4月1日清掃事業の区移管にあわせ「ごみゼロプラン2000」を策定し、ごみ集積所を利用した資源の分別回収など、区民、事業者と連携してごみの減量に取り組んできました。

この結果、区内の可燃・不燃のごみ量は、平成11年度と比較して約15パーセントの減量となりました。しかしながら、今後とも最終処分場の逼迫等に対応していくため、一層のごみ減量を図ることが求められています。

世田谷区の平成12年度ごみ組成分析調査結果によると、生ごみは家庭ごみの約3割を占めており、現在そのほとんどが焼却処理されていますが、生ごみの発生抑制とリサイクルの推進が本区におけるごみ減量のための大きな課題になっています。

区はこれまで、区民の自主的なリサイクル機運を高めるため、家庭用生ごみ処理機の購入費補助や、生ごみリサイクル講座などを通して普及啓発・支援に努めてきました。また、庁内関係所管との連携により、区立小中学校への生ごみ処理機設置、公園及び街路樹の落ち葉や剪定枝のチップ化・堆肥化などさまざまな取り組みを進めてきたところです。

さらに、本年5月、食品リサイクル法が施行され、飲食店、コンビニエンスストア、食品メーカー等は、平成18年度までに食品の売れ残りや食べ残しなど再生利用等の実施率を、20パーセントに向上させることが数値目標として定められています。

本区におけるごみの現状及びこれまでの取り組みを踏まえ、「生ごみの減量・リサイクルの方策について」ご審議いただきたく、ここに諮問するものであります。

## 審議経過

会議名	開催年月日	内容
第2回審議会	平成13年8月31日	・「生ごみの減量・リサイクルの方策について」諮問 ・現状と他自治体の事例説明
第3回審議会	平成13年12月12日	・諮問事項の審議
第4回審議会	平成14年4月26日	・諮問事項の審議 ・東京農業大学生ごみ肥料化プラントの概要説明
第5回審議会	平成14年6月28日	・諮問事項の審議 ・起草会議設置了承
第1回起草会議	平成14年8月12日	・諮問事項にかかわる答申文（案）作成
第2回起草会議	平成14年10月7日	・諮問事項にかかわる答申文（案）作成
第6回審議会	平成14年10月29日	・諮問事項の審議
第3回起草会議	平成14年12月19日	・諮問事項にかかわる答申文（案）作成
第4回起草会議	平成15年1月27日	・諮問事項にかかわる答申文（案）作成
第7回審議会	平成15年2月12日	・諮問事項にかかわる答申文（案）審議

## 委員名簿

(敬称略)

### 《区議会議員》

やまぐち ひろ ひさ 山口 裕久	自由民主党
なかつか まもる 中塚 護	公明党
おの ゆうじろう 小野 裕次郎	民主党・無所属クラブ
かへ ひろ し 嘉部 弘 司	日本共産党
やま き きょうこ 山木 きょう子	生活者ネットワーク
はね た けい じ 羽田 圭 二	社会民主党

会 長  
副 会 長  
起草委員

### 《学識経験者》

ごとう いつ お 後藤 逸 男	東京農業大学 教授
やまだ まさ と 山田 正 人	国立環境研究所 主任研究員

### 《区民代表》

くらもと とし ゆき 倉本 俊 幸	世田谷区町会総連合会 副会長
こま い すみ こ 駒井 澄 子	世田谷区青少年委員OB会 副会長
みかめ えみ こ 三瓶 恵美子	世田谷区消費者団体連絡会 代表
たか はし ひで こ 高橋 秀 子	世田谷区立小学校PTA連合協議会 副会長
しら が ただ し 白神 忠 志	区民公募
ふる きわ まつのじょう 古澤 松之丞	区民公募
こん どう ひる こ 金藤 博 子	区民公募

### 《事業者代表》

み た たつ ぞう 三田 達 三	東京商工会議所世田谷支部情報・サービス分科会 会長
こしみず ひでお 小清水 日出夫	世田谷区商店街連合会 常任理事
はや かわ こたろう 早川 小太郎	(社)世田谷工業振興会 理事
ふる や しんいちろう 古谷 真一郎	(社)東京青年会議所世田谷区委員会 委員長
よし おか みつ あき 吉岡 光 章	世田谷区農業青壮年連絡協議会 会長